

qu'une Partie contractante ne déclare par écrit aux deux autres Parties deux ans avant sa décision de faire cesser l'effet du présent Arrangement.

Des quatre textes dûment confrontés et trouvés concordants le texte français fera foi pour l'interprétation du présent Arrangement.

Fait à Ourga le 11/24 Janvier 1916, correspondant au 24-ième jour du premier mois de la première année du Hung-Hsien et, d'après le calendrier mongol, le 19 du 12-ième mois de

Yan du Lièvre Bleu.

(signé) Délégué Plénipotentiaire de Russie A. Miller (L.S.)

(signé) Délégué technique de Russie Léon Serguieïewitch (L.S.)

(signé en mongol) Pountsoukserene (L.S.)

(signé en mongol) Tsende (L.S.)

(signé en chinois) Go-chi-joun. (L.S.)

(signé en chinois) Tchen-jou. (L.S.)

事項一五 墨国ニ於テ本邦人漁業権取得一件

四二六 八月二十八日

在墨国太田臨時代理公使ヨリ
石井外務大臣宛

加州サン、ディエゴ在住近藤政治ガ墨国下

カリフォルニア沿岸ニ於ケル漁業権取得ノ件

附屬書一

二月八日附在羅府大山領事代理発岩崎臨時代理
公使宛墨第四号写

下カリフォルニア沿岸ニ於ケル漁業継続方近藤
政治ヨリ請願ノ件

二 三月二十日附岩崎臨時代理公使発在羅府大山領
事代理宛羅領公第二号写

三 右件ニ対シ回答ノ件
四月十日附近藤政治発岩崎臨時代理公使宛書信
写

四 漁業許可申請ノ為ノ代理人選定方願出ノ件
八月一日附近藤政治発太田臨時代理公使宛書
信

カランサ政府ノ許可ニ対スル下加州知事ノ態度
ニ関スル件

公第一一六号

(十月四日接受)

大正五年八月二十八日

一五 墨国ニ於テ本邦人漁業権取得一件 四二六

在 墨

臨時代理公使 太田 為 吉 (印)

外務大臣子爵 石井菊次郎殿

墨国低加州ニ於テ漁業継続方希望ノ趣ヲ以テ在加州「サン、ディエゴ」市近藤政治ヨリ事情ヲ具シ在「ロスアンゼルス」大山領事代理迄願出タル件ニ関シ本年二月八日附墨第四号ヲ以テ同領事代理ヨリ右近藤ノ請願書相添ヘ別紙甲号写ノ通り当館ヘ申越有之当館ニ於テハ当国農商務省ニ就キテ取調タル上本年三月二十日附羅領公第二号ヲ以テ別紙乙号写ノ通り当国現政府ハ総テ在来ノ個人ニ与ヘタル特權ヲ廃シタル結果右近藤ノ願出ニ係ル如キ特許權ヲ賦与スルハ其能ハザル処ナルモ漁業ノ許可ハ願出ニヨリ之ヲ与フベキ旨及回答置候処超エテ四月十日附ヲ以テ近藤自身ヨリ別紙丙号ノ通り米墨国境ヨリ北緯二十七度ニ至ル区間ニ於テ一、各種魚類、蝦、鮑等ノ漁獲製造並ニ鮮魚及製品ノ輸出、二、海藻採取並ニ輸出ノ許可ヲ得タキ旨ヲ以テ当国政府ニ

向テ許可ヲ申請スルニ付キ適當ノ代理人選定方直接当方へ
願出候ニ付キ本官ニ於テハ右事業ノ性質上該請願ニ応シ許
可獲得ニ応分ノ尽力ヲ与フルモ差支ナキモノト認メ予テ当
地ニ於テ在紐育三井物産会社支店ノ囑託ヲ受ケ相当ニ事業
ヲ営ミ居ル須沢豊吉ナル者ヲ選定シテ近藤ノ代理人タラシ
メ置候処其後須沢ハ当局ニ就キ実地研究ノ結果代理人トシ
テ許可ヲ得ルニ手続上ノ困難アル為メ却テ自己ノ名義ヲ以
テ一旦漁業許可ヲ得其上ニテ更ニ其許可ヲ近藤ニ使用セシ
ムルコトト致シ候方容易ナルヲ発見シ近藤ト協議ノ上右ノ
方針ニヨリテ当該官憲ニ請願シ本年七月三十日前記海藻採
取並ニ輸出ノ件ヲ除ク外別紙丁号許可証ノ通り低加州東海
岸ニ於ケル漁業ノ許可ヲ得近藤ヲシテ之ヲ使用セシムルコ
トトセル趣ニ候間右承知置相成度將又前頭海藻採取及輸出
ノ件ハ所轄官衛漁業ノモノト異リ居ル為メ其方ノ許可ヲ得
ルハ今後尚ホ多少時日ヲ要スル趣ニ有之候而シテ右漁業ノ
許可ハ中央政府既ニ之ヲ与ヘタルモ由來低加州知事「カン
ツ」ハ中央政府ノ命ニ服セス中央政府モ亦地理上余程持
テ余シ居ル実情ニ有之候間近藤カ別紙戊号ニ依リ申述居候
如キ憂慮モ全然皆無トハ申難ク從テ事業ノ安全ニ對スル保

ハ別紙請願書ノ趣旨ニ拠リ同事業繼續方墨国官憲ニ御交渉
相成度旨貴官へ申進方小官宛願出候ニ就テハ右及御送付候
間可然御取計相成度此段申進候 敬具

追テ本件ニ関スル貴官ノ御意嚮又ハ本件御取扱ノ結果願
人ニ於テ速ニ承知致度趣ニ付乍御手教其要領御電報相成
候様致度此段申添候也(以下略ス)

(別紙)(右甲号ノ附屬書)

大正五年二月四日

エム、ケー、漁業会社

代表者 近藤 政治

羅府日本帝國領事館

領事代理副領事 大山卯次郎殿

謹啓時下弥々御清勝奉欣賀候

諸テ当エム、ケー漁業会社ノ件ニ関シテハ從來屢々御配慮
ヲ煩ハシ候段恐縮ノ至ニ御座候弊社ト墨国低加州沿岸ノ漁
業権關係ニ就テハ墨国駐劄本邦公使安達峰一郎閣下迄數回
陳情致シ置候通りニ有之候処近來ノ墨国政変ニ伴ヒ「サン
ドヴァール」氏ノ享有セシ漁業特權ハ「カランザ」政府ニ
於テ承認セザル方針ノ由承リ及ビ候ノミナラズ現ニ当地並

障ハ現在ノ処聊カ思束ナキ点モ有之候ヘトモ兎ニ角同人カ
今回許可ヲ得タル願末一件書類添附ノ上一応茲ニ及御報告
候 敬具

註 別紙丁号許可証写省略ス

(附屬書一)

甲号写

墨第四号

(附屬添附)

大正五年二月八日

在ロスアンゼルス

領事代理副領事 大山 卯次郎

在墨国

臨時代理公使 岩崎三雄殿

下カリフォルニア沿岸ニ於ケル漁業繼續方近藤政治ヨ

リ請願ノ件

当館管内サンデエゴ、エム、ケー漁業会社カ予テ墨国政府
ヨリ特權ヲ得居リタル「ラ、ベスカドラ」会社ト契約ノ上
低加州ニ於テ漁業ニ従事致居候事ハ委細御承知ノ事ト存候
処過般來墨国政変ニ伴ヒ該ベスカドラ会社ニ与ヘラレタル
特權ハ取消サレシヤノ趣ニ付這般前頭エム、ケー漁業会社

ニ羅府駐在墨国領事ハ該特許權ガ取消サレタル旨明言致候
就テハ弊社ニ於テハ予テ具陳致セシ通りノ事情ニ有之是非
共事業繼續致シ度キ所存ニ有之候ニ付此際相當ノ条件ニ依
リ墨国政府ヨリ直接ニ該低加州沿岸ニ於テ漁業並ニ漁獲物
ノ製造、輸出ノ許可ヲ得候様ノ事相叶候ヘバ弊社ノ最幸甚
トスルトコロニ候随テ弊社ノ希望ハ、相叶候ヘバ、北緯三
十二度ヨリ同二十七度ニ至ル間若クハ北緯三十度三十分ヨ
リ同二十七度ニ至ル間ニ於テ左ノ特權ヲ獲得致度若シ墨国
政府ノ方針特權ヲ付与セザルニアラバ唯前陳漁業其他ノ許
可タニ得候ヘバソレニテモ弊社ノ目的ヲ達スルヲ得ル次第
ニ御座候

特權ヲ得タキ項目

採鮑並ニ其製造輸出及其他ノ魚類ノ漁獲漁獲物ノ製
造、鮮魚及製造品ノ輸出

現今「サンドヴァール」氏ハ特權ニ對シ米墨国境ヨリ下加州
南端「サンルーカス」岬ニ至ル間ニ於テ若クハ月間約若千弗
ヲ低加州知事ニ支払居候弊社ニ於テモ該特權ニ對シ前陳ノ
金額ニ多少ノ増減アルモ不苦候又單ニ前陳ノ許可ニ向テハ
一定ノ輸出税ヲ支払フカ又ハ若クハ月若干ト定メ漁業税ヲ納

入スルモ不苦候

以上陳述ノ微意御酌量被成下候テ墨国駐劄ノ本邦公使閣下ヘモ可然御申達同公使閣下ニ於テ御配意被成下候様御尽力ノ程懇願ノ至リニ御座候此儀御許容被成下候ハバ雷ニ弊社ノ幸福ノミナラズ在米本邦漁業者ニ取リテモ亦大幸ノ至ニ存候 敬白

追伸 前陳特權ヲ得度キ項目中ノ魚類中ニハ鰕、亀、ヲモ含ミ居リ又製造輸出ノ項ハ塩蔵、乾製罐詰及副産物ノ製造ト輸出トヲ意味シ候ニ付何卒御含ミ置被下度願上候也
(附屬書二)

乙号写

羅領公第二号

大正五年三月二十日

在 墨

臨時代理公使 岩 崎 三 雄

在羅府

領事 大山卯次郎殿

低加州ニ於ケル近藤政治ノ漁業ニ関シ回答ノ件

客月八日附墨第四号貴信ヲ以テ本件ニ関シ御申越ノ趣了承

エム、ケー漁業会社

代表者 近 藤 政 治

在墨国墨西哥市駐劄

日本帝国臨時代理公使 岩崎三雄閣下

謹啓愈々御清栄被為涉候段慶賀候

楮テ過般羅府駐在帝国領事大山卯次郎殿ヲ通シ懇願申上候墨国下加州ニ於ル漁業權獲得ノ件ニ就テハ御繁務中ニモ拘ハラズ早速御高配被成下候次第ハ去月二十日付ニテ右大山領事殿宛ノ芳墨ニ依リ詳細拝承深ク奉感謝候
右御書面中ノ漁業許可トハ漁業並ニ其製品又ハ鮮魚輸出許可ヲモ含ムコトト存候ヘドモ從來墨国ニテハ漁業ノ許可ト輸出ノ許可(其漁獲物若クハ其製品ノ輸出)トヲ區別致居候間念ノ為メ御伺申上候当方ニテハ漁業並ニ輸出ノ許可ヲ得候事最必要ニ御座候

近來当地ニ於ル墨国領事等ノ言並ニ某ニ於テ調査セシトロニ依レバ「サンドバル」氏ノ「ラ、ペスカドラ」会社「コンセツション」ハ本年式月カラanza政府ニ依リテ正式ニ取り消サレタルモ低加州知事「カンツ」氏ノ特別ノ庇護ノ下ニ今尚事業ヲ継続致居候之レニ就キテハ少シク其裏

致候仍テ当国農商務大臣ニ面会シ近藤ノ陳述ヲ逐一申聞ケ同人ニ対シ低加州ニ於テ漁業ノ特權ヲ附与セラレンコトヲ請求セシニ同大臣ハ墨国革命軍ノ政綱ヲ完全ニ執行セントスル現政府ハ凡テ是迄存在セル特權ヲ廃シタレバ遺憾其請求ニハ応ズルコト能ハザルモ漁業ノ權ハ何人ニモ之ヲ附与スル次第ニ付貴国人ノ漁業者ヲシテ當農商務省ニ漁業許可ノ申請ヲナサシムルヲ以テ足ルベシ、但シ此ノ許可ハ毎年之ヲ附与スルモノナレバ一回ノ申請ハ一ケ年間有効ナルモノト心得許可期間ノ満了セザル前ニ予メ其手続ニ及ブベシ尚ホ其申請書ニハ漁業ヲ営マントスル地方ヲ明記スルヲ要ストノ事ニ候仍テ此ノ趣近藤ニ御移牒方可然御取計相成度尚ホ同大臣ハ本件申請ヲ為スニハ本人自身當省ニ出頭スルカ又ハ代理人(此ノ場合ニハ無論委任状ヲ要ス)ヲシテ之ヲ為サシムルカ何レカノ方法ヲ執リテ可然シト被申添候此段回答申進候也

(附屬書三)

丙号

(漁業許可申請ノ為ノ代理人選定方願出ノ件)

大正五年四月十日

面ノ事情ヲ申上ル必要可有之ト存候「サンドバル」氏ハ「カンツ」氏ノ子息ノ名付親ニ当リ互ニ親密ナル關係アルノミナラズ「カンツ」氏ノ義弟ト「サンドバル」氏ノ長女トハ既ニ婚約アリ猶「サンドバル」氏ヨリ「カンツ」氏ニ対シ參千七百弗ノ漁業稅ヲ前払シ居レルガ為メニ特ニ「サンドバル」氏ヲ庇護シ居ル様子ニ候ヘ共羅府並ニ「サンディエゴ」駐在墨国領事ハ非常ニ「サンドバル」氏ニ反対シ絶対ニ同氏ノ權利ヲ認メザル狀態ニ有之候

「カンツ」氏ハ「サンドバル」氏ノ權利ヲ回復セシメシガ為メニ其口実ヲ作ルノ目的ヲ以テ下加州「サンクインチン」灣ニテ鮑罐詰ヲナシ、シカモ器械ヲ用キズ僅カニ手工ニノミ依リタルニ拘ラズ恰モ大工場ナルカノ如クニ報告シ居リ候又、一方「カンツ」氏ノ弟少佐「カンツ」氏ヲ通ジ「オブレゴン」將軍ノ方ニ運動ヲナシ居ル様子ニ御座候最近「セーハス」ト申候墨国弁護士カラanza政府ヨリ「コンセツション」ヲ得ル手続ヲ了シ候由承リ候同氏ハ某ト少シク關係有之候故万一其方ニテ漁業權ヲ獲得スルカ如キコト有之候モ当方ニ取リテハ「サンドバル」氏ニ於テ再ビ

該權ヲ獲得スルヨリモ好都合ニ御座候

「サンドバール」氏ハ墨国政府ヲ詐ルノ目的ヲ以テ「ラ、ベスカドラ」会社社長ニハ同氏ノ秘書役「アレン」(Allen)氏ヲ任シ副社長ニハ「エル、エム、サラサル」氏 (L. M. Salazar) ヲ任シ自己ハ何等ノ關係ナキガ如ク表面ヲ装ヒ居候是レ「サラサル」兄弟ガ「オブレゴン」將軍ト交リ好シトノコトヨリ来レルモノノ如クニ候

御多忙中誠ニ恐縮千万ニ候ヘ共某等ノ微衷御高察被成下候テ尚下ノ如キ条件ニテ漁業並ニ漁獲物輸出ノ許可ヲ得候様御配慮ヲ煩シ度某事直チニ其御地ニ参上可致答ニ候ヘ共「サンドバール」氏トノ關係上唯今其儀ニ及ビ候テハ同氏ノ感情ヲ害シ得策ニアラザル様被存候ニ付此処一、二週間ノ様子ヲ視候上ニ致シ度存念ニ御座候

就テハ誠ニ厚々間敷御願ニ候ヘ共当方代理人トシテ貴地ニ於ケル御知人中ヨリ可然人物ヲ閣下ニ於テ御撰択被成下候儀相叶申間敷哉此儀果シテ御許容被成下候ニ於テハ其御仁ニ対スル報酬トシテハ該出願手續ニ要スル費用ヲ支弁スルハ勿論尙相当ノ額ヲ進呈可致候而シテ其程度ハ其御仁ニ於テ米貨式、参百弗ニテ御承知被成下候ヘバ好都合ニ御座候

先ハ右御願迄如斯御座候 頓首謹言

委任状

拙者儀 ヲ代理人ト定メ左ノ件ヲ委任ス

一 墨西哥国下加州西沿岸米墨国境ヨリ北緯貳拾七度ニ至ル間ニ於ル漁業權獲得ニ付墨国政府ヘ出願ニ関スル一切ノ件

仍テ委任状如件

大正五年四月十日

北米合衆国加州サンディエゴ市ステート街七六〇

番地

エム、ケー漁業会社

代表者 近 藤 政 治

(以下余白)

(附屬書四)

戊号写

(カランサ政府ノ許可ニ対スル下加州知事ノ態度ニ

関スル件)

在墨国帝国代理公使

太 田 為 吉 閣 下

右代理人ニ対スル委任状モ此ニ同封致置度存候ヘ共当米國ニテ発シ候委任状ヲシテ墨国ニ於テ有効ナラシムルニハ種々煩ハシキ公辺ノ手續ヲ要シ候為メ自然当方ノ運動ノ模様世間ニ相表ハレ候恐モ有之候ニ付不得已日本文ノ委任状差出シ候間何卒閣下ノ御助言ニ依リ有効ナラシメ候儀ハ相叶間敷哉若シ其儀相叶不申候ハバ閣下ニ於テ御信任被遊候御仁ニ御依頼被成下其御仁ノ名儀ニテ許可ヲ得テ当方ヲシテ其權利ヲ行使セシメラレ候様ノ事ニ御取計被成下候モ不苦候余リニ勝手々間敷御願ノミ申上恐縮ノ至ニ候ヘ共目下ノ情状御酌量ノ上御聞届ノ程切ニ奉懇願候

当方ノ希望ハ既ニ陳述シタル通ニ候ヘ共尙左ニ列記致候

事業ノ目的

一、各種魚類、蝦、鮑等ノ漁獲製造並ニ鮮魚及製品ノ輸出

一、海藻ノ採取並ニ輸出

一、漁業区域 自米墨国境至北緯貳拾七度

右許可ニ対シテハ壹ヶ月ニ付米貨参百弗位支払候モ不苦候ヘ共絶対ニ必要ト有之候ヘバ同五百弗迄ハ支払フ覚悟ニ御座候間何卒是モ御含ミ置被成下度奉懇願候

謹啓時下酷暑ノ候ニ候処閣下弥々御清勝被遊御座候段欣賞ノ至ニ奉存候扱テ予テ小生ヨリ奉懇願候漁業權ニ関シテハ不一方御高配ヲ煩ハシ其結果須沢氏ノ尽力ニテ好果ヲ得候様須沢氏ヨリノ報告ニ接シ候之レ実ニ閣下御配慮ノ結果ナリト深く奉感謝候何分此上トモ御保護被下候様幾重ニモ御依頼申上候屢々申上候通り下加州知事「カンツー」氏ハ「サンドバール」(ラ、ベスカドラ会社)ト頗ル密接ノ關係ヲ有シ且ツカランサ政府ヲ眼中ニ置カズ現ニ先般カランサ政府ヨリ二名ノ税関長ヲ差シ送り候際之レヲ放逐シタルノミナラズ墨米国交將ニ破レントスルヤ中立ヲ宣言シタル位ニ有之候ヘバ今回幸ニシテ獲得セル漁業許可書モ十中ノ八迄ハ承認セザルモノト存候ヘトモ之ヲ獲得シ候手續モ他ノ人トハ異リ居候ヘバ或ハ承認ノ勇氣モ之レナカランカトモ存候兎ニ角試験致ス考ニ御座候過般モ外務次長友人「セーハス」ナル代言人ニ漁業許可書ヲ与ヘ候処「サンドバール」ノ運動ノ結果別段ノ理由ナク之レヲ取消シ其ノ為メ小生会社等モ為ニ失フ処数千弗ニ及ビ申候但シ強テ争フモ不利ト存候ニ付「カランサ」政府ヨリノ許可書ノ来着前ニ「カンツー」政府ノ許可書ヲ獲得シ置クコト却テ好都合

ナランカト存候儘幸ニ最近「カンツ」氏秘書官トナリタル人小生ノ知人ノ知人ナルノ故ヲ以テ同氏ヲ通シテ交渉致居候ヘドモ果シテ功ヲ奏シ可申ヤ疑問ノ中ニ御座候右ノ次第ニ有之候ニ付キ万一「カンツ」氏カラランサ政府許可書ヲ承認セズ小生会社船ヲ捕獲致シ候様ノコト有之候ヘハ早速電報ニテ御通知可申上候ニ付何卒予メ御手配被下候様懇願奉リ候

右不取敢御礼旁御依頼迄此ノ如クニ候 謹言

大正五年八月一日 近 藤 政 治

四二七 十二月二十六日 在ロスアンゼルス大山領事ヨリ
本野外務大臣宛

在加州近藤政治経営ノ漁業会社所屬船亜細亞
号ガ墨国沿岸ニ於テ捕獲セラレタル件

附屬書一 十一月十四日附近藤政治ヨリ在羅府大山領事代理宛保護請願書

二 十一月十四日在羅府大山領事代理宛在墨国太田臨時代理公使宛電報第五号

近藤政治ノ請願ニ付指示方ノ件

三 十一月十七日同右第六号

亜細亞号捕獲ノ理由ナキ旨説明ノ件

四 近藤政治ヨリ大山領事ニ提出ノ亜細亞号報告書
公第二六二号 (大正六年二月五日接受)

大正五年十二月二十六日

在ロスアンゼルス

領事 大 山 卯次郎(印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

加州サン、デゴ―在留近藤政治経営ノ「エム、ケー」漁業会社ハ曩ニ墨国人「サンドバル」ノ経営セル「ラ、ベスカドラ」会社ヨリ同社ガ墨国政府ヨリ特許セラレタル漁業権ヲ譲受ケ同国下加州ニ於テ鮑捕獲製造並ニ輸出業ニ従事致居候処本年七月頃在墨国太田臨時代理公使ノ尽力ニヨリ同地三井物産会社代表者須沢豊次郎ノ名義ニテ直接カラランザ政府ヨリ太平洋沿岸ニ於ケル漁業権ヲ獲得シ且ツ是ト殆ド同時ニ「ラ、ベスカドラ」会社ノ漁業権ハ前政府ヨリ許可セラレタルノ故ヲ以テ現政府ヨリ認メラレザルニ至リタルニヨリ「エム、ケー」会社ハ「ラ、ベスカドラ」会社トノ前記譲受契約ヲ取消シタルガ中央政府ヨリ新ニ得タル須沢名義ノ漁業権ハ下加州北部ヲ管轄スル「カンツ」知事(表面カラランザ政府ニ反対セザルモ心服セズ)ノ認ムル所

名義ノ漁業権ノ範圍其他内容ハ在墨国公使館ニテ承知ノ筈ニ付必要ノ点ハ本件ニ関スル同館ノ措置振ト共ニ同館ヨリ報告可相成候義ト存候右御報告申進候 敬具
(附屬書一)
甲号写

保護請願書

北米合衆国加州サン、デゴ―市ステート街七

六〇

エム、ケー漁業会社

右者從來墨国中央政府許可ノ下ニ南低加州タートル湾ニ於テ營業在罷候処今回本社所有船亜細亞号ガ北低加州知事「カンツ」ニ属スル巡邏船エンセナダ号ノ為メニ捕獲サレシ趣通知ニ接シ候ヘ共右ハ何等ノ原因ヲモ有セザル不法行為ニシテ本社有形無形ノ損害少ナカラズ候就キテハ該船即時解放ニ関シ先方官憲ニ対シ適當ノ御交渉相成度此段及御請願候也

大正五年拾月拾四日

右エム、ケー漁業会社代理人

近 藤 政 治

ロスアンゼルス帝國領事代理

副領事 大山卯次郎殿

(附屬書二)

乙号写

大正五年拾壹月拾四日發電

在ロスアンゼルス領事代理

副領事 大山 卯次郎

在墨国臨時代理公使 太田為吉殿

第五号

サン、デゴー近藤政治経営エム、ケー漁業会社船重細重号ハ約老週間前低加州 Turtle Bay ニ於テ何等理由ナクシテ突然知事「カンツ」ノ巡邏船エンセナダ号ノ為捕獲サレタル旨通知ニ接シタル趣ニテ右解放方墨国官憲へ交渉アリタキ旨近藤ヨリ申出アリタルガ右ハ如何回答可然哉返電請フ

(附屬書三)

丙号写

大正五年拾壹月拾七日發電

在ロスアンゼルス領事代理

副領事 大山 卯次郎

在墨国臨時代理公使 太田為吉殿

第六号

貴電第四号ニ関シ

亜細亜号ハ「タートル」湾ニ碇泊中ナリシ処拾壹月四日エシセナダ号入港シ来リ其乗組員ハ亜細亜号ニ乗移リテ之ヲ引キテ立去レルガ当時亜細亜号船員ハ總テ陸上ニ在リタル由尚漁獲物輸出ニ関シ通関手續ヲ省略シタルコト等ナク其他ニモ何等捕獲サルベキ理由ナキ趣近藤ヨリ申出デタリ

(附屬書四)

丁号写

ギヤスリン・ボート Asia 号ハ過去參ヶ年間俗称 Turtle Bay (Babia Torluga) ニ於テ M. K. Fisheries Co. ノ採鮑船曳船用トシテ使用サレタルモノニシテ本年七月マデ「エム、ケー」漁業会社ハ La Pescadora S.A. ト漁業契約ヲナシ一ヶ月五百弗ヲ支払ヒ漁業ニ従事シ居リシモ時恰カモ予テ公使閣下ノ御尽力ニヨリ須沢豊一郎氏ノ名義ニテ「カランザ」政府ヨリ漁業権ヲ得タルト猶「ラ、ベスカドラ」会社ハ其漁業権ハ正式ニ「カランザ」政府ニヨリテ

取消サレタルヲ以テ漁業権ヲ有セザルノ事実トヲ知りタル為メ「ラ、ベスカドラ」会社トノ契約ヲ解除シ新ニ「カンツ」政府ヨリ獲タル海藻採取權トニヨリ海藻灰製造ニ従事スルニ至リ爾來海藻採取船曳船トシテ使用セラレツツアリタルモノナリ、然ルニ着業後三ヶ月ニシテ此海藻採取權モ「カンツ」ノ為ニ剝奪サルルニ至レリ、其理由ハ或米

人会社設立ノ目的ヲ以テ此權利ヲ得ンガタメ一ヶ月參千弗、一ヶ年五千弗ノ「ボーナス」ヲ支払フ旨ヲ申込タルガタメ利慾ニ迷ヒタル「カンツ」知事ハ何等ノ予告ヲモ与ヘズ之レヲ差留メ為ニ「エム、ケー」漁業会社ノ蒙リタル金錢上ノ損害ハ老万弗ニ達シ八拾余名ノ本邦漁夫並ニメキシコ漁夫ハ為ニ職ヲ失フニ至レリ此海藻採取權ハ D. Gold-

baum Jr. ノ名義ニヨリ得タルモノニシテ期間ハ本年五月七日ヨリ向フ參ヶ年ニシテ其契約条項中ニ「若シ事業ガ式ヶ月間ノ試験ニヨリ成績良好ナレバ月々支払ヘル五拾弗ノ採取稅ヲ増加スルコトアルヘシ」トアルニ増加スル事ヲ政府ニ上申セザリシタメナリトノ口実ヲ付スルモノナレドモ事業上予想外ノ困難起リ成績未タ判明セズ其試験中ニ費セシ所ノ一部スラ之レヲ回収シ得ル迄ニ成功シ居ラザリシナ

リ此時ニ於テモ「マサトラン」ヨリ連レ来リタル日本人參拾名ノ上陸ヲ拒ミ終ニ一人式拾五弗宛ノ罰金ヲ支払ヒ上陸許可ヲ得タリ

扱テ前記須沢氏ノ漁業権ハ「カンツ」ニ於テ之レヲ認メサルモ駐在サンディエゴ「メキシコ」領事ハ之ヲ認メ其勸告ニヨリ「カンツ」勢力範囲外ナル「マグダレナ」湾税関ニ墨国領事ノ認メタル漁業権ヲ提出セルニ同税関ニハ既ニ直接「カランザ」政府ヨリ同上寫書着シ居リ喜ンデ此許可書ヲ承認スルコトヲ税関ヨリ明言セリ

「カンツ」知事ノ「カランザ」政府ヨリ与ヘタル漁業権ヲ認メザルハ其姻戚「サンドバール」ノ關係セル「ラ、ベスカドラ」ノ漁業権ヲ不法ニ保護センガ為ニシテ、前記「タートル」湾ハ北緯式拾七度四拾分ニ位シ南方下加州知事(ラバス駐在)ノ管轄ニ屬シ「カンツ」ノ Jurisdiction

ノ範圍ハ北緯式拾八度迄トス
扱テ「カンツ」政府 Patrol Boat タル Ensenada 号ハ其実「サンドバール」所有ノ船ニシテ「カンツ」ノ兵士ヲ乗組マシメアルモノニテ不法ニモ其勢力範圍外タル「タートル」湾ニ侵入シ投錨シアル「アジャ」号ヲ密猟シ

居リタリトノ名義ノ下ニ曳出シタルモノニシテ之レヲ「エンセナダ」港ニ繋留シ居ルモノナリ故ニ此問題ハ一、エム、ケー漁業会社代表者近藤政治ハ漁業権享有者須沢豊一郎氏ノ代理者ニシテ其漁業権ニヨリ業務ヲ営ムモノニシテ「カンツ」ハ之レヲ承認セザル可ラザルモノナルコト二、既ニタートル湾管轄税関マグダレナ湾税関ニヨリテ承認セラレアルコト三、「カンツ」氏ノ巡邏船「エンセナダ」ハ其管轄外タルタートル湾ニ侵入シ不法ニAsia号ヲ捕獲シ

且ツ管轄違ナル「エンセナダ」ニ拘繋スルコト四、アシヤ号ハ漁業ニ營業的ニ従事シ居ラズ只自己食料又ハ娯樂ノタメニ漁獲ナシタルコトアリトスルモ既ニ漁業権ヲ有スル以上密猟ノ問題ヲ惹起スルノ余地ナキモノナリ
右ノ四点ヨリ「カンツ」行為ノ不法ナルハ明瞭ナル所ナリ

事項一六 露国内政関係雑纂

四二八 二月二日

在モスコー平田総領事代理ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

露国首相交渉ニ関スル Utro Rossi 新聞ノ社

説報告ノ件

第四号

露国内閣議長ノ交渉ニ関シ当地新聞 Utro Rossi ハ二月二日ノ社説ニ於テ議會カ未タ再開セラレス民論亦稍々下火トナレルニ当リ此事アリタルヲ以テ意想外ナリトナシ Gorenukin 氏ノ引退ハ畢竟議會再開問題ニ関シ内閣外ノ或ル権力トノ意見ノ衝突ニ基ケルモノタルハ疑ナキ所ニシテ後任者 Shurner 氏ハ上院議員トシテ右党ニ屬スルモ近来保守の政治運動ニ荷担スルヲ避ケタルモノ從テ今回ノ就任ハ間接ニ内閣ト民間殊ニ進歩派トノ調和ニ若干ノ歩武ヲ進ムルモノナリト觀察セリ

(露都經由二月三日前二、〇五第六七号)

四二九 二月三日

在露国本野大使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

露国新首相ノ戦争遂行内政問題等ニ関スル新

聞記者ヘノ談話報告ノ件

第六四号

二月二日総理大臣「ゴレムキン」氏ハ願ニ依リ其職ヲ免セラレ Shurner 氏総理大臣ニ任セラル同氏ハ上院右党ニ屬シ知事内務省総務局長タリシコトアリ氏ハ新聞記者ニ對シ戦争終局ノ勝利ノ必要单独講和ノ不能ヲ説キタル後「平和ハ露国ノ品位ヲ保チ且露国ノ物質的及ヒ精神的發展ニ資スルモノタルヲ要ス露国カ此歴史的大目的ヲ達スルニハ国民ノ総テノ力ヲ結束シ挙国一致ノ実ヲ挙クルヲ要ス予ハ政府ト議會ト力提携シテ国事ニ当ルノ必要ナルヲ確信ス近々開カルヘキ議會ニハ單ニ予算案ノミナラス国力ニ關係スル經濟財政問題ヲモ議セシムヲ要ス外強敵ニ当ルノ今日内政ニ関スル諸問題ヲ議スルハ其ノ時期ニアラス予ハ又政府ト公共自治団体ト力協同シテ活動スルノ必要ヲ認ム政府